

チーム名	やる気マンマンズ	大学・学部	金沢大学 地域創造学類 地域プランニングコース	北陸ステージ
プラン名称	北陸食材クエスト			
リーダー名	北瀬駿太郎	テーマ	※選択したテーマに○をつけてください。 ( ) ①北陸の文化振興を促す「観光まちづくり」 (○) ②北陸ならではの資源を活かした「観光まちづくり」	本選出場 【北陸イメージアップ 推進会議 福井県賞】
指導教職員名	山岸雅子 教授			
メンバー名	内海昂樹 大浦直己 中村和奏 西野光柚 舟木佑太			

### 1.北陸観光の現状

金沢市の観光地への集中(H28,金沢市の入込み人数は42%)



これらによって起こる諸問題

### 2.北陸観光の課題

- ① 密集による満足度の低下
- ② 資源の消費、地域について学べない
- ③ 郊外施設の客数増加

➡ **学びもある、持続可能な資源を使ったツアーが必要**

### 3.提案

## 「北陸食材クエスト」

- 従来型の団体ツアーでなく、1組ごとに主役感がある旅
- 問題を解きながら食材を集める、RPG風の食材調達ツアー

### 4.ツアー内容



#### アプリのクエスト画面

- ・採集・訪問、体験の3種類のクエストが存在している。
- ・クエストの成功条件は選んだ食材を取って、写真を撮ってアプリ上に投稿すること
- ・クエストには重要度があり、一番重要なクエストは確実にクリアする必要がある。

アプリケーションをもとに「クエスト」をこなし  
地場産の食材を手に入れることが目標

### 5.地域と食材について

- 加賀市、あわら市、坂井市、福井市が対象
- 新幹線の延伸を控えているが、通過されてしまう可能性がある市町村
- 加賀市、あわら市は有数の温泉地。宿泊だけでなく、街の観光も呼び込むことが課題である。
- 地域資源(=地元産の食材)を使ったツアーが必要

例えば。。



ふくこむぎ...福井県立大が研究開発。収穫時に昔ながらの手法を使っている。



橋立の岩ガキ...加賀市橋立地区は国定公園に指定されておりそこで取れるカキは濃厚な風味。

これ以外にも、地域の食と自然資源を生かす



集めた食材はメインディッシュに使われる(例:鍋、ピザ)  
メインディッシュ以外には取った食材以外の郷土料理

### 6.経済効果

3人家族、3人組の旅費を7万円と想定(移動費用込み)



年間120組が参加したと仮定すると300万円の観光消費額増につながる

更に移動拠点(宿、駅など)が全て域内にあるため、郊外施設に人を呼び込むことが可能



### 7.課題解決

- ・**観光地の分散=満足度の上昇**
- ・**食材調達型ツアー=地域について学べる、従来よりも主体的な体験ができる**
- ・**新幹線開通を控える市=一過性にならず、開通後は更に客数増加を見込める**